

## 再評価時再評価結果(平成30年度)

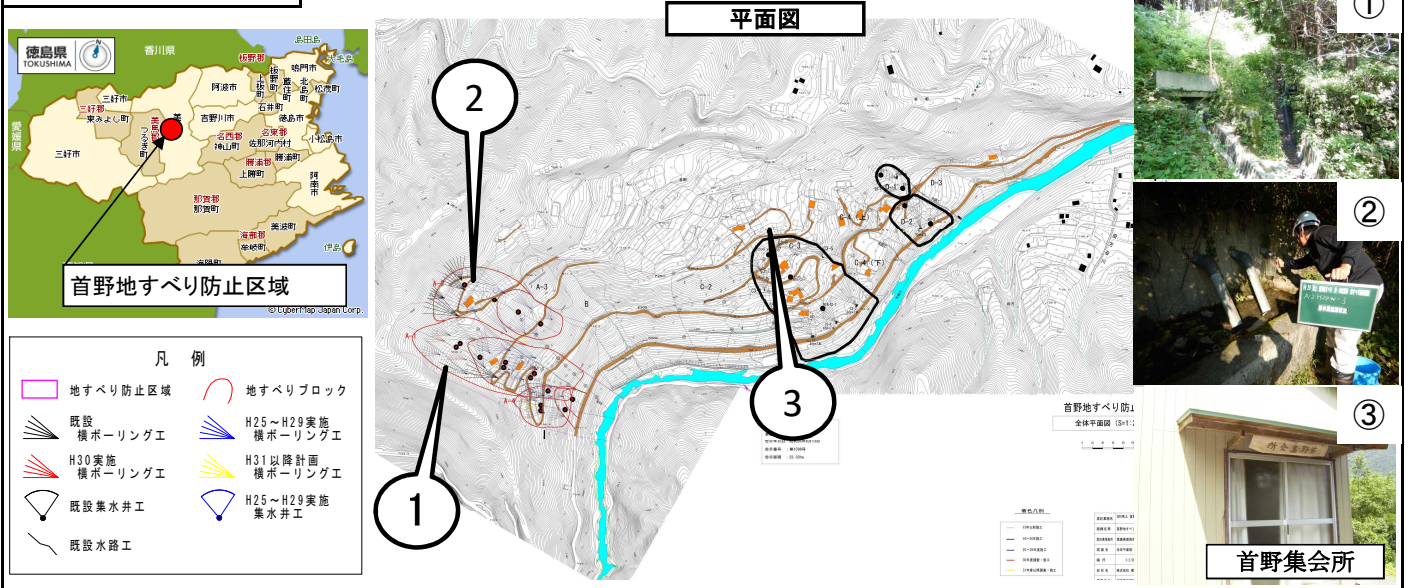
担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 山名 剛

### 事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	美馬市穴吹町古宮首野	箇所名	首野地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ポーリング工、水路工)				
事業の目的・必要性	首野地区における地すべり対策事業は、地すべり防止施設等の設置により、人家、迂回路の無い市道、集会所等への地すべり活動による被害を除去または軽減する事を目的としている。昭和51年災害には、口山発電所の完全破壊のほか、4戸の民家が被災を受けた履歴がある。当地区の保全人家は15戸、地すべり変動によって市道や宅地に亀裂や沈下が生じていたことから早期対策の必要があった。				
総事業費	540 百万円				

### 位置図 計画概要図



### 事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成30年度	3.0	11.3	752百万円	工事費・用地補償費 等	2,263百万円	人家15戸、道路 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人家の保全:家屋被害等の軽減</li> <li>・市道の保全:道路被害の軽減</li> <li>・耕地の保全:農作物被害の軽減</li> <li>・人命の保全:人身被害の軽減</li> </ul>						
ソフト対策	土砂災害警戒区域に指定済みであり、警戒避難体制の整備に寄与している。						
社会経済情勢等の変化	当地区では事業着手時から保存人家が18戸から15戸に減少したが、地域の高齢化が進み、自力では避難が困難な住民が増加しているため、依然として早急な対応が必要な状況である。						
事業の進捗状況	全3ブロックで着手しており、内2ブロックは概成済みである。残る1ブロックについても横ポーリングを主体とした地すべり対策を実施し、平成32年度の概成を目指している。 平成30年度の進捗率は事業費ベースで81.6%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:2.7, 事業費-10%:3.3, 工期+10%:3.0, 工期-10%:3.0, 資産+10%:3.3, 資産-10%:2.7 残事業費+10%:10.5, 残事業費-10%:12.2, 残工期+10%:9.5, 残工期-10%:11.2, 残資産+10%:12.3, 残資産-10%:10.2						
事業進捗の見込み	平成32年度完了に向けて、特に隘路なし。						
対応方針(案)	継続						
対応方針理由	これまでの対策は地下水位の低下へ一定の効果はあるが、地すべり変動が収束していないため対策の必要がある。また、地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

### 継続の理由

残る対策中の1ブロックは、地すべり変動が継続して観測されているため、さらなる対策が必要である。また、上記の費用便益分析の結果より、便益に対する事業費は妥当であり、事業進捗も81.6%と事業完了が比較的近い。  
したがって、地域の人命・財産の安全を確保するため、平成32年度の完成に向けて地すべり対策事業を実施していく。